

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課		
		実施期間	R3 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標	様々な人の労働参加を全国トップに						
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり			2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保			

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 ○理論と実技を同時に学ぶ実践型の教育により、農業技術の高度化・経営の専門化に対応する知識・技術の修得が進んでいる。 ○寮生活や自らテーマを定めて行うプロジェクト学習等により、他者との協調・自己の確立等の社会性が涵養され、21世紀の農業・農村を担う優れた人材が養成されている。 【これまでの取組】 ○スマート農業の講義を開講し、AI、ICT、ロボット技術等のスマート農業に関する授業を充実強化 ○新規就農者を養成するため、新規就農里親前基礎研修、就農体験研修、農業機械利用技能研修等の開催 ○就農希望者等の大型特殊自動車及びけん引免許取得を支援 ○「農ある暮らし」を志向する移住者や定年帰農者などの定着を確保するため、「農ある暮らし入門研修」を開催				
	令和2年度 点検結果 (令和元年度 実施事業分) ・ 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農大改革により、卒業生の就農率は年々着実に向上しているが、長野県農業の次代を担う人材育成機関として、意欲ある学生の確保と就農率の向上が求められている。</td> <td>先端技術であるスマート農業の講義及び実習の充実や外部講師による実践的講義の拡充など農大の魅力向上を図り、県内外からの意欲ある学生確保と就農率の更なる向上を目指す。</td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	農大改革により、卒業生の就農率は年々着実に向上しているが、長野県農業の次代を担う人材育成機関として、意欲ある学生の確保と就農率の向上が求められている。
課 題	今後の方向性				
農大改革により、卒業生の就農率は年々着実に向上しているが、長野県農業の次代を担う人材育成機関として、意欲ある学生の確保と就農率の向上が求められている。	先端技術であるスマート農業の講義及び実習の充実や外部講師による実践的講義の拡充など農大の魅力向上を図り、県内外からの意欲ある学生確保と就農率の更なる向上を目指す。				

2 令和3年度事業内容

補正予算のポイント・主な取組 (予定)	事業費の確定による減額 (△306千円)
------------------------	----------------------

指標の状況及び目標値 [△:改善、▽:悪化、→:変化なし]						No	成果指標	H30年度	R1年度		R2年度末		R3年度 目標値	事業 コスト	区分(単位:千円)				
R1年度		R2年度末		R1年度	R2年度				R3年度	前年度繰越	当初予算	補正予算			合計(A)	うち一般財源	決算額(B)	職員数(人)	
1	農学部 卒業生就農率 (%)	63.0	55.6	▽	50.8	▽	67												
2	研修部 けん引免許取得率	100	99	▽	98	▽	90												
3	研修部 大型特殊免許取得率 (%)	100	100	→	100	→	95												
4																			
5																			
成果指標 設定理由	①本県農業を担う人材の育成と就農者の確保を促進するため、農大改革の主要目標である「農学部卒業生の就農率向上」を成果指標に設定。 ②～③研修部における農業者の実践的技術の向上を図るため、「受講者免許取得率」の向上を成果指標に設定。																		

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和3年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検	
事業名	農業大学校運営事業		部局	農政部	課・室	農業技術課		
細事業 No.	細事業名		R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
1	農業大学校運営費						当初予算	49,497
							補正予算	-64
			計	50,589	計	48,455	計	49,433
			千円		千円		千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)					
1	農業大学校運営費	直接	総合農学科では、先端分野であるスマート農業の授業を拡充する。 平成26年度から新設した実践経営者コース入学生に対して、より実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の修得教育を実施する。					
細事業 No.	細事業名		R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
2	実科・研究科費						当初予算	7,562
							補正予算	0
			計	6,883	計	7,679	計	7,562
			千円		千円		千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)					
1	実科・研究科費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施する。					
細事業 No.	細事業名		R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
3	研修部費						当初予算	9,667
							補正予算	11,295
			計	10,673	計	10,207	計	20,962
			千円		千円		千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)					
1	研修部費	直接	里親前基礎研修及び里親研修、農業機械技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のための研修を実施する。					
2	教育内容充実強化特別推進事業	直接	スマート農業の導入を加速化させるため、農業大学校研修部にスマート農業機械等を整備し、農業者向け体験講座の充実を図る。					
細事業 No.	細事業名		R1年度 最終予算		R2年度 最終予算		R3年度 予算	
3	農業大学校施設整備費						当初予算	2,896
							補正予算	-242
			計	6,258	計	6,256	計	2,654
			千円		千円		千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)					
1	農業大学校施設整備費	直接	松代キャンパス教室の空調設備工事を行う。					